## 6.本時のねらい

1.2÷4の計算の方法を自分で、言葉・線分図・図・絵等いろいろな方法で考えたり、全体で交流していく中で、1.2(小数)をより細かい単位に分けて考えていくこと(0.1を単位として考える)で(整数)÷(整数)と同じ考え方で計算をすることができると気付く。

## 7. 本時の展開(5/12)

学 漝 活 動 評価・支援 実際に1.2リットルの色水を用意し、量感覚をつかませる。 1.問題を知る 1 . 2 リットルのジュースを 4 人で等分します。 1 人分 立式できない児童には、図で表したり、小数部分を整数にし て考えさせたりする。 は何リットルでしょう 1 . 2 ÷ 4 ・4 等分するから ・4人で分けるから 2.課題をノートに書き、見通しを持つ。 見通しがもてない児童には、(小数)×(整数)の時にどのよ 1 . 2 ÷ 4 の計算の仕方を考えよう うな考え方があったのか思い出せるように助言する。 見通しを持つ。 ・(小数) x (整数) と同じように考えられるかな? ・数直線を使ってみたら 図に書いてみたら ・実際に水ではかってみたら? ・小数を細かい単位にしてみたら? 3.個人で課題追求する。 • 1.2 y = 12  $12 \div 4 = 3$   $3 = 0.3 \% 1.2 \div 4 = 0.3$ どうして良いのか分からない児童には、(整数)÷(整数)は どうだったのか聞いて、見通しの1つを与える。 ・1.2 は 0.1 が 12 個集まった数 12÷4=3 0.1 は3個 1.2÷4=0.3 図や数直線で表している児童に対し、その考え方が包含除に なっていたら、等分除の考え方でやるように助言する。 ・実際にはかる ・数直線に表す (小数)÷(整数)の計算の意味について、数直線や図など ・図に書いて表す。 を用いて、整数の計算に関連づけて考えようとする。 (関・意・態) 4.全体で交流する。 それぞれの考え方が割られる数(小数)をより細かい単位に ・12 ÷ 4 で計算している。 していることに気づかせる。 ・0.1 が何個あるのかに注目している。 (小数)÷(整数)の計算は、割られる数(小数)の単位を ・整数のわり算と同じように計算している。 より細かくして考えれば計算することができると分かる。 5.まとめをする (考え方) (小数)÷(整数)の計算は、小数を小さな単位(0.1)として考えると整数の除法と同じように考えることが できる。 6.練習問題 (小数)÷(整数)の計算ができる (表・処)